

2019年2月22日
株式会社みずほ銀行

中国江蘇省蘇州市相城区經濟技術開發區管理委員会との 業務協力覚書締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治）および中国現地法人であるみずほ銀行（中国）有限公司は、本日、中国江蘇省蘇州市相城区經濟技術開發區管理委員会との間で、当地への投資促進、誘致政策策定にかかわる業務協力覚書を締結しました。

蘇州市相城区は、中国における三大經濟圏である揚子江デルタの中心に位置し、「揚子江デルタの唯一の交差点」とも呼ばれており、現在、南通、蘇州、嘉興、寧波（通蘇嘉甬）をつなぐ高速鉄道が建設されている等、交通の要衝として地理的優位性を有しています。

經濟技術開發區は、2002年に設立された国家級の開發區であり、自動車部品、精密機械、IT産業等幅広い産業が集積し、今後益々の発展が見込まれています。このたび、次世代情報技術、ロボット、新素材等の分野で優れた技術を持つ日系企業の誘致を目的とした「中日スマート製造イノベーション産業パーク」を設立し、スマート製造の中心地を目指しています。

〈みずほ〉は、本覚書を通じ、蘇州市相城区經濟技術開發區への街づくり・企業誘致に関するアドバイスや投資説明会開催等への協力を行い、同地域へ進出しているお客さまへの各種アドバイスや、進出を検討しているお客さまへの投資環境案内および進出時の各種サポートを一層強化していきます。また、日系企業の紹介や産業の高度化等に関する知見の提供を通じて、蘇州市ならびに相城区の經濟改革、産業発展にも貢献していきます。

（ご参考）蘇州市相城区概況（数値は2017年）

概要	中国江蘇省蘇州市の中心に位置しており、交通の要所。 （面積：489km ² 、人口：約100万人）
主要な産業	機器製造業、電子機械製造業等
GDP	700億元

以上